

2025年度  
(令和7年度)

## 北海道指定図書

第71回 青少年読書感想文全道コンクール  
第51回 北海道指定図書読書感想文コンクール

主催●北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

後援●北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会

選定協力●北海道読書推進運動協議会

\*「北海道青少年のための200冊」の本に選定 \* ホームページ [北海道学校図書館協会](#) 検索

| 指定           | 書名                                    | 著者・税込価格                                       | 内容(出版社名)  |
|--------------|---------------------------------------|---|---|
| 小学校低学年(1・2年) | なんていいひ                                | リチャード・ジャクソン/文<br>スージー・リー/絵<br>東直子/訳<br>1,980円 | あめふなかこ<br>雨が降る中、子どもたちは大はしゃぎ。雨が止むにつれ、辺りが色とりどりに包まれ……。「美しい一日」を描いた一冊。<br>小学館      |
|              | チョウになりたい                              | マルク・マジュスキ/作・絵<br>吉井知代子/訳<br>1,760円            | じぶんす<br>チョウになっている自分が好き。それをからかう子たちもいて嫌になることもあるけど、パパが応援してくれているから…。<br>金の星社      |
|              | くじらのいるこみち                             | 塩野米松/文<br>はたこうしろう/絵<br>1,650円                 | じうたぐいはづ<br>住宅街の外れにある土の道。近所に越してきたゆかちゃんはこの道が大好き。雨のあと、水たまりにたくさんの魚があらわれて…。<br>農文協 |
|              | ぞうのうんちはまわる                            | 重松彌佐/文<br>しろぺこり/絵<br>1,540円                   | どうりょうにち<br>4頭ぞうのうんちの量は1日でなんと400キロ。うんちをたいひにかえて、動物園には緑がしげり、野菜が育つ。<br>新日本出版社     |
| 小学校中学年(3・4年) | いつも仲間といっしょ エナガのくらし                    | 東郷なりさ/作<br>江口欣照/写真<br>2,200円                  | エナガは身近な公園でも見られる五百円玉ほどの重さのかわいい小鳥。ちょっと変わった暮らしをのぞいてみましょう。<br>文一総合出版              |
|              | 動物の義足やさん                              | 沢田俊子/文<br>1,650円                              | 作った装具は3万匹分。専門家がない中、動物のための装具づくりにチャレンジしてきた島田旭緒さんの活動をご紹介!<br>講談社                 |
|              | タケシのせかい                               | 室井滋/文<br>長谷川義史/絵<br>1,650円                    | 秘密の箱を開けるとパパからの手紙が。いろいろな人がそれを認め合うことに気づく。「ウェルビーディング」の絵本。<br>アリス館                |
| 小学校高学年(5・6年) | ブルーラインから、はるか                          | 林けんじろう/作<br>坂内拓/絵<br>1,540円                   | ほとんど話したこともない後輩からの頼みは、「しまなみ海道」をチャリで渡りきること。夏を駆け抜ける青春ロードノベル!<br>講談社              |
|              | ぼくとロボ型フレンド                            | サイモン・パッカム/著<br>千葉茂樹/訳<br>1,980円               | 過度の心配性や不登校の児童の気持ちがリアルに描かれ、彼らが演劇を通して成長していく感動の物語。<br>あすなろ書房                     |
|              | ぼくたちのことをわすれないで<br>ロヒンギヤの男子 ハールンのものがたり | 由美村嬉々/作<br>鈴木まもる/絵<br>1,650円                  | 故郷のミャンマーで迫害を受け、隣国バングラデシュの難民キャンプに暮らすロヒンギヤの人びとの現状を伝えます。<br>校成出版社                |
| 中学校          | わたしは食べるのが下手                           | 天川栄人/作<br>1,760円                              | 会食恐怖症と摂食障害。二人の少女がたどり着いた正しい“食”との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って何だろう?<br>小峰書店              |
|              | 光の粒が舞いあがる                             | 蒼沼洋人/著<br>1,430円                              | 母子家庭で何事にも打ち込めない心愛と、父子家庭でボクシングにしか打ち込めないこはく。出会いと成長の青春小説。<br>PHP研究所              |

